8月11日、みの～れは温かい光に包まれる…

キャンドルで10歳をお祝い

袴田さんはみの～れ10歳記念事業実行委員会「装飾部（愛の小径）」のメンバーで8月11日『みの～れ野外映画会』の日に来て頂いたお客様に「やわらかな光を感じてほしい…」と廃油で作ったエコキャンドルを駐車場からみの～れまでのアプローチに飾るプロジェクト『愛の小径』を進めている。「最初は竹の側面をチューリップやもみじの形を切り抜いて、キャンドルの灯りで影を出そうと思ったけど、孟宗竹は肉厚で上手く切り込むことが出来なかった。試行錯誤しながら、かぐや姫が出てきたときのような斜めに切る形に決まりました。やるからには皆で楽しんでやりたいし、失敗して皆に迷惑をかけないためにも試作品を作ったりしています。でも、良かったですよ。実行委員のメンバー全員いい人たちばかりで」と穏やかに話す。

袴田さんの住む花館区は毎年、小美玉市の駅伝大会に出場している。袴田さんは十数年駅伝チームの万年マネージャーを務めている。みの～れの周りまでは毎年来ていたが館内に入ることはなかった。袴田さん一家は奥様の喜美子さんと娘さんの涼子さんもみの～れで活躍しており、ある時「みの～れでホワイエのお客様の列整理係を手伝ってみない？」と喜美子さんから声をかけられ、みの～れに初めて足を踏み入れた。また、「小美玉さくらフェスティバルというイベントあるんだけど、実行委員をやってみませんか？」とみの～れ職員さんから声をかけてもらった。そこで、ゴルフの大好きな袴田さんはパターゴルフを提案し、風のホールにパターゴルフ場を作った。「試行錯誤してブルーシートの上に人工芝を敷き詰めた。コースは風、光、森、花、緑と名前を付けてネーミングに合った装飾をしました。綱引きのロープを使ったり、伐採している森のどんぐりの木を置いたり、ゴルフボールがジャンプするように加工したりしましたね。まっすぐじゃ面白くないですからね。スコアカードも若者たちが手作りの絵を書いたり、色を塗ったりしてくれました。とても楽しかった」と当時を振り返った。「お父さん、今度は『なつかしの名画座』という企画をやるみたいよ」と喜美子さんからまた声をかけられ、なつかしの名画座実行委員会に入ったエピソードもある。「今やっている映画は私が生まれた時代の映画なんですよ。昭和30年代の映画を選んでいます。『なつかしの名画座』という名前があるので新しい映画じゃなくしようと言っていますが、少しずつ時代を広げましょうと言うことで幅を広げました。高校生の頃や、東京の会社に入ったころはよく映画を観に行っていたので、その経験を活かしたい」と話す。家族三人それぞれでみの～れの関わり方が違うので「どんな事をやっているの？」という話をして、みの～れが家族の会話をつないでいる。

袴田さんは、「みの～れは楽しい所というよりお役所だから堅い所というイメージでした。ところが職員とも和気あいあいと話せて堅苦しいところではないと見方が変わりましたね。みの～れに来るのはとても楽しい」とみの～れと関わるようになってからの心境の変化を話してくれた。

「装飾部は『折り鶴で龍を作る部門』と『キャンドルを作る部門（愛の小径）』に分かれていて、キャンドルを作るんだったら袴田さんがいろいろなアイディアを持ってそうだという話になり、愛の小径メンバーを引き受けた。あのとき黙っていればキャンドルではなくて、折り鶴で龍を作っていたかも知れない」と今だから話せるエピソードを笑いながら語ってくれた。8月11日に行われる野外映画会の時に、ペットボトルを切った容器にエコキャンドルを入れて作る「祝10さい」の文字や斜めに切った竹の中にも幻想的な灯りが点ります。

袴田さんは最後に「当日は雨が降らないことを祈っています。雨が降ると灯りを点せなくなってしまいますから…」と心からの言葉を話した。皆さんと楽しい夏の一夜が過ごせますように。

（藤田　佐知子）

楽しい夏がやってきた。賑やかな蝉の鳴き声が聞こえるようになりました。天に向かってぐんぐん伸びるゴーヤや朝顔、さっぱりした味わいのパッションフルーツのグリーンカーテンが涼しげにゆれています。みの～れ前の「四季の里芝生広場」には大きなねむの木があり、清楚なピンクの可愛らしい花が咲いています。昼間は葉っぱを広げて木陰を作り、夕方には葉っぱが閉じて二度楽しめますよ。是非、遊びながら見に来てください。今回は、8月11日に行われる「みの～れ野外映画会」の日、エコキャンドルが醸し出す柔らかな灯りの中で映画を楽しんでもらいたいと準備を進めている花館区にお住いの袴田義明さんを取材する。

みの～れ10歳記念事業実行委員会
装飾部（愛の小径）メンバー

袴田 義明さん

「家族の会話のキーワードは『みの～れ』。みの～れが家族の絆を深めてくれる」と語る袴田さん。

みの～れと共に生活するスタイル

Minole Life のすすめ

No.61